

2023（令和5）年3月2日（木）～3日（金） 三原山（758m）&椿祭り・「熱海組」2日目リポート

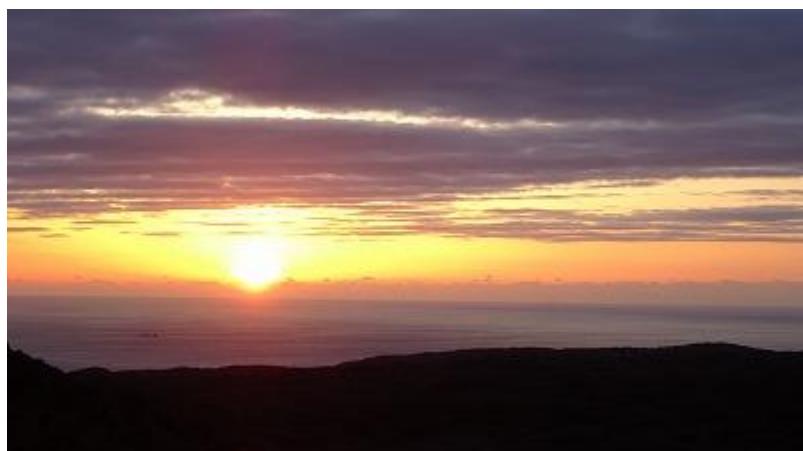
～Report by 吉松～

文さん、石井さん、吉松の「熱海港出航3人組」は、初日の三原山ハイキングをしっかり楽しみました。山頂の風は相当なものでしたが、何とか無事に御鉢巡りも出来ました。来られなかつた堀さん、池戸さん、雄さんは本当に気の毒でしたが、海が荒れたのでは仕様がありません。

昨日は、どうやら我々が乗ったジェット船以外はすべて欠航にならしく、泊った大島温泉ホテルはガラガラ。こんなゆったりした、貸し切り状態のホテルライフも初めての体験です。

大島に渡ってくる船の欠航は、月に一回くらいのペースであるそうで、ホテルの従業員も慣れたもので、少しも慌てているように見えませんでした。

昨晚は、文さんは9時前には布団に潜り込み、石井さんと吉松も10時位には床に就きました。しっかり睡眠をとり翌朝5時頃ゴソゴソと起きだして朝風呂に入りました。朝食は7時からなので、何ともんびりした朝を迎えました。



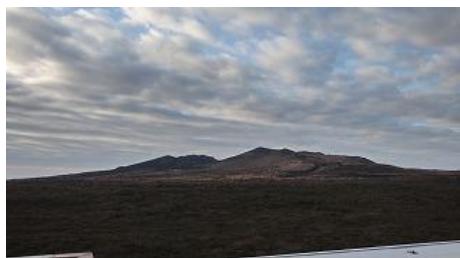
6時過ぎ、太陽が昇ってきた。

昨日とは違って風がほとんどない。
今日は昨日に増して良い天気だ。



太陽が昇りきると三原山の雄姿がホテルの真ん前に姿を現した。
低山だけど、なかなか雄大な山である。

ひと風呂浴びてもなお時間がある。部屋でゴロゴロしながら7時からの朝食を待った。
強風で閉められていた屋上テラスにも、今日は出られた。ホテルからはどこからでも三原山が望める。



朝食は7時から

客は少ないので、量、質ともに満足できるバイキングコースが準備されていた。



どれもこれも食べたい放題なのだが、イセエビの味噌汁だけはお一人様一杯の注意書きが・・・

イセエビの身も入っていて、美味しいものでした。



本日は、椿を求めて「椿・花ガーデン」と「東京都立大島公園」に行く計画だ。ホテルからのバス出発は、9時37分。長いこと部屋でプラプラした後、9時半くらいになってやっとロビーに下りて行った。



受付の女性に撮ってもらった写真

ロビーで撮るクマさん会旗も捨てたものではない。

定刻通り 9時37分発のバスは来た。勿論、バスもガラガラ！



10分ほどで椿・花ガーデンに到着



入り口の受付では古老が迎えてくれて、丁寧に説明をしてくれた。

40年、このガーデンの面倒をみているとのことだった。古老が手塩にかけて守ってきた庭のようだ。

早速、古老自慢の園を散策



大小の椿、紅白の花、まだらの花など様々な椿を見ることが出来た。
良い香りのする椿もあった。

あまりに種類が多くて、全てを紹介できない。



園内には芝生の広場（富士見の丘）があり、そこには展望台もある。

石井さんと一緒にすると、カメラが向けられたら何やらポーズをとらないとまずい！と思うから不思議だ。



園内の「うさぎの森」

餌をやると、どこからともなくワンさとウサギが寄ってくる。



園内に観光客が少しずつ増えてきた。今日の船便で到着した人たちのようだった。

園を一巡りした我々は、雄さんのスケジュールにのっとって、一旦タクシーで岡田港へ移動した。

昼食を、岡田港建物内の「海のキッチン」でとることにした。



コーヒーブレイクや昼食で何度も利用した
「海のキッチン」

船の入出港のたびに繁盛している。

気立ての良い女性が窓口にいて、石井さん
などはお友達状態！

昼食は、島の名物「べっこう寿司」と「べっ
こう寿司&カリフォルニアロール」



べっこう寿司



べっこう寿司&カリフォルニアロール

昼食も済み人心地ついたところで、タクシーで東京都立大島公園へ移動

タクシーは、個人タクシー「あいタクシー」を利用

律儀で話し好きな運転手であった。

*どうやら「東京都立」というところは大切なようで、確かに島人口7000名ほどだけでは維持できないほど
の広大で整備の行き届いた公園であった。

従業員に「立派な公園ですね」と声を掛けると、「東京都立ですから」と誇らしげである。



大島公園「椿園」は、椿まつりの真っ最中
(椿祭りは期間が長く、1月末ごろから3
月末くらいまで)

昨日の船便欠航のため、この時間でも未だ
客はまばらであった。

ブースにいた若くて気立ての良い女性が、
我々の集合写真を撮ってくれた。



*ところで、「あんこ」とはお姉さんのことらしい。

もしかしたら、若い女性というよりは、少し年のいった女性のことを言うのかな？

椿園に入る前に、「椿資料館」を見学
椿の切花展示はなかなかのものでした。



椿資料館

未だ新しい建物で、見ごたえのある展示を
楽しんだ。



いざ、椿園へ！！　園の中には展示温室もあって簡単には見尽くせない！！

園芸品種約1000種3200本、ヤブ椿（自生種）約5000本　（何しろ東京都内で日本最大規模）





先の方に見える**展示温室**を出たところで、歩き疲れて東屋で休憩



まだまだ見どころはあったが、切が無いので少し海の方に下っていくことにした。
「つばきの広場」と名付けられたあたりだ。ツバキ以外の花も見られる。



「つばきの広場」へ

大島桜やモクレンの花も楽しめた。

下った先には海岸が広がってくる。



さらに下って、「海岸遊歩道」を歩いて椿園の入り口まで戻ることにした。
海岸通りというよりは、海岸の崖の上いうべきか？ 海抜15mの標識もあった。



海岸通りを20分くらい歩いて、やっと椿園に向かう舗装道に出た。

大島公園の一角には動物園もあるのだが、港に戻る時刻が迫ってきたので見学は諦めた。
その代わり、椿園に向かう舗装道路で野うさぎが飛び出し、木の上をサルが渡っていくのを見ることが出来た。

14時40分椿園発のバスに乗り、岡田港に向かった。10数分で岡田港に到着
熱海港行きのジェット船出航まで小一時間ほど時間がある。再び「海のキッチン」で、喫茶タイム
「海のキッチン」受付のお嬢さんとは、すっかり顔見知りになってしまった。

我々が乗船する東海汽船ジェット船は既に待機していた。

15時50分、離岸。最初の寄港地伊東港に向けて快適に航行
伊東港から熱海港までもほとんど揺れを感じないまま、順調に航行



我々3人が乗船したジェット船





16時55分、時刻通りに熱海港到着した。

今回の伊豆大島行は、期待をはるかに超えて素晴らしかったです。何しろ、これほど多くの椿を見たことがありませんでした。一生分はおろか、二生分の椿を見たと思いました。

*石井さん・・・早速ご家族から、我々も連れて行けとの連絡が入っているようでした。
本人は、連れて行かねばなるまいと覚悟を決めているようです。

*文さん・・・・明言されていませんが、ご家族孝行のために覚悟の臍を固めているか？

*吉松・・・・来年の椿シーズンに細君を連れて行こうと思いました。自分自身も、もう一度見たいものだと思いました。

我々の感動が、一緒に参加できなかった堀さん、池戸さん、雄さんを突き動かしたらしく、リベンジの大島行が急遽計画されました。

そのレポートも楽しみです。